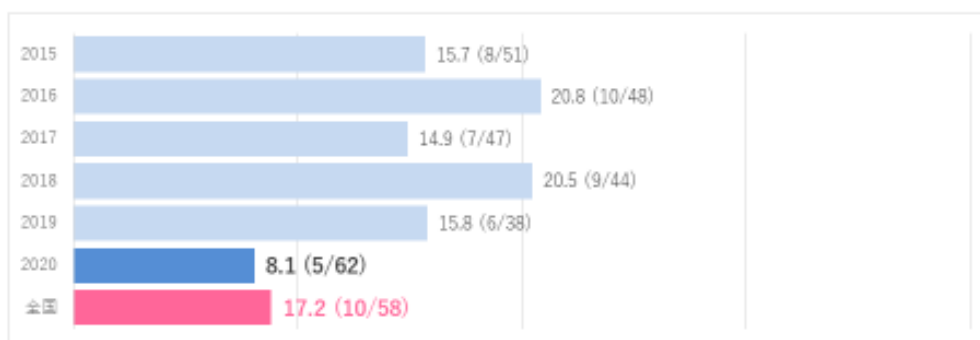


手術部位感染(SSI)発生率

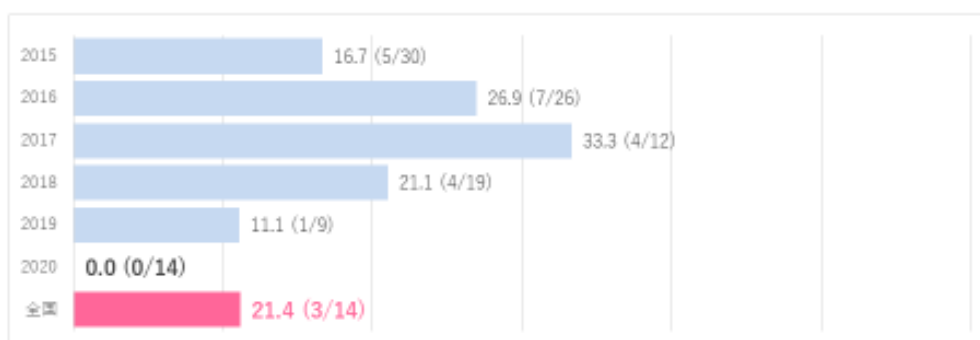
医療の質を評価する側面
Outcome

(厚生労働省(JANIS)データより)

大腸手術



直腸手術



(単位:%)

分子: JANIS事業のSSI判定基準に合致した患者数
分母: 手術手技別患者数

手術部位感染(SSI)発生率

医療の質を評価する側面
Outcome

項目の解説

手術部位感染(SSI)とは、術後、創部に起こる感染症を指します。
SSIは、手術患者の24人に1人の割合で発生するとされていますが、適切な予防策の実施によりSSIの55%は予防可能であると言われています。
SSIの発生は、重症化のリスクが高まり、入院期間の延長につながるため、感染予防が重要です。
ここでは、当院で比較的症例数が多く、SSIの発生リスクが高い「大腸」と「直腸」の手術を対象にしたSSI発生率を示します。

2020当院データの分析

大腸手術、直腸手術ともに減少傾向にある。発生事例は高リスク状態だった。

数値改善に向けた今後の取り組み

手術部位感染減少に向け最適な取り組みを検討する。